



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

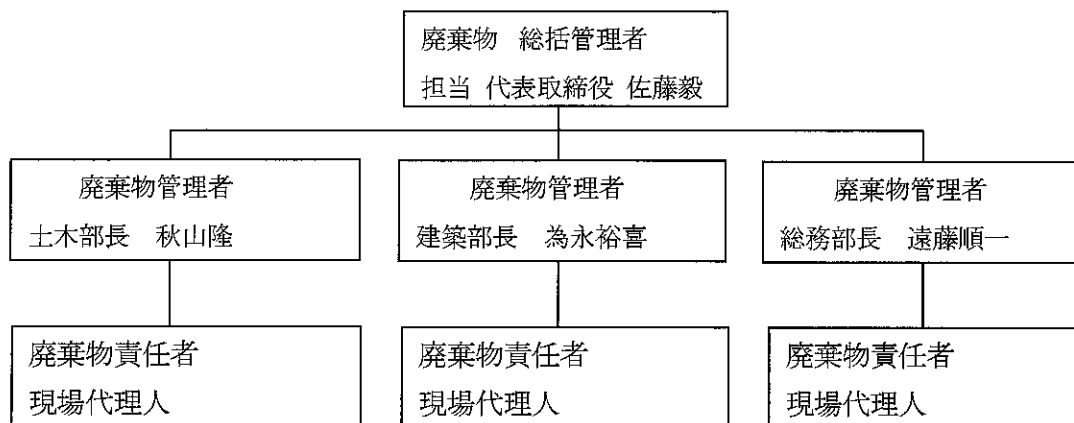
(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和6年 6月12日 いわき市長 殿 提出者 住所 福島県いわき市小名浜字中原16-1 氏名 福浜大一建設株式会社 代表取締役 佐藤 毅 電話番号 0246-54-8111 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	福浜大一建設株式会社
事業場の所在地	福島県いわき市小名浜中原16番地の1
計画期間	令和 ⁶ 5年4月 1日～令和 ⁷ 6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	完成工事高 680,000万円 (令和4年度)
③ 従業員数	98人 (令和6年5月末現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	発注者から工事受注 (元請) 構造物取り壊し 産業廃棄物積み込み運搬 (運搬委託契約) 中間処理委託契約 (破碎・切断) 最終処理委託契約 (埋立安定型)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

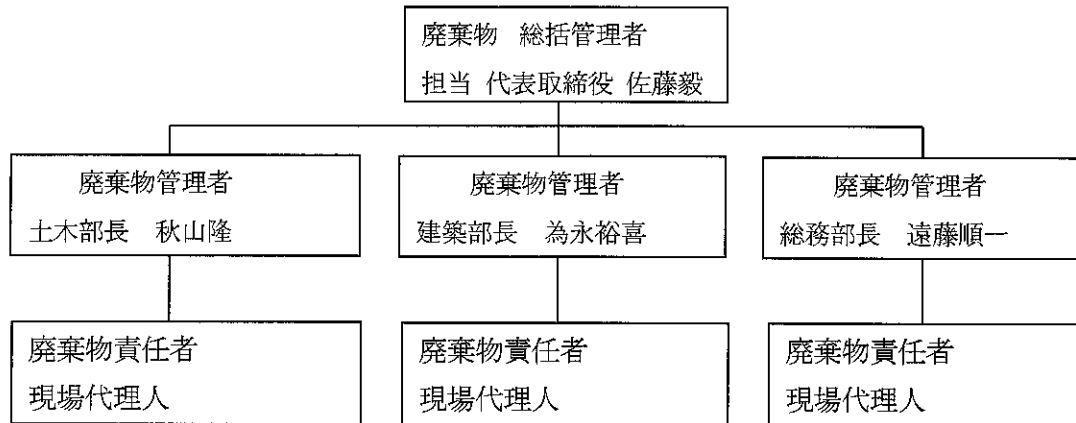
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 5,621.74 t		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,962.00 t	3,659.74 t
	（これまでに実施した取組） 発生する廃棄物ががれき、木くず類であり、そのほとんどは再生利用のため中間処理施設への搬入となる。 上記理由により、ほとんどは再生利用する。		
② 計画	【目標】 1,700 t		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,500 t	200 t
	（今後実施する予定の取組） 公共工事の発注内容によるため、発生抑制については、主に発注者判断となる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設業であり、コン殻・アス殻・木くず・廃プラ類・金属くず・ガラス陶磁器・廃石膏ボード・その他のがれき類・繊維くず・紙くず・混合・建設汚泥・ゴムくず・廃石綿等に分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物をより再分別する

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 22.07 t		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	
	排出量	22.07 t	
	（これまでに実施した取組） 発生する廃棄物が廃プラ、紙くず類であり、そのほとんどは再生利用のため中間処理施設への搬入となる。 上記理由により、ほとんどは再生利用する。		
④ 計画	【目標】 5 t		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	
	排出量	5 t	
	（今後実施する予定の取組） 公共工事の発注内容によるため、発生抑制については、主に発注者判断となる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設業であり、コン殻・アス殻・木くず・廃プラ類・金属くず・ガラス陶磁器・廃石膏ボード・その他のがれき類・繊維くず・紙くず・混合・建設汚泥・ゴムくず・廃石綿等に分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物をより再分別する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 舗装路盤材料、裏込め材料、再生舗装材・植樹帯肥料などに使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組) 民間工事を積極的に利用促進する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1, 9 6 2. 0 0 t	3, 6 5 9. 7 4 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1, 9 6 2. 0 0 t	3, 6 5 9. 7 4 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	1次処理業者に委託し、破碎・選別により、再資源化を行う 又木くずはチップ化による再利用を行う		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	
	全 処 理 委 託 量	22.07 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	22.07 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	
	(これまでに実施した取組) 1次処理業者に委託し、破砕・選別により、再資源化を行う 又木くずはチップ化による再利用を行う		

(第5面)

② 計画	【目標】 1, 700 t		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	1, 500 t	200 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1, 500 t	200 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再利用、再資源化を行う		
※事務処理欄			

②計画	【目標】 5 t		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	
	全処理委託量	5 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	
	再生利用業者への 処理委託量	5 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	
	(今後実施する予定の取組)		
	再利用、再資源化を行う		
※事務処理欄			